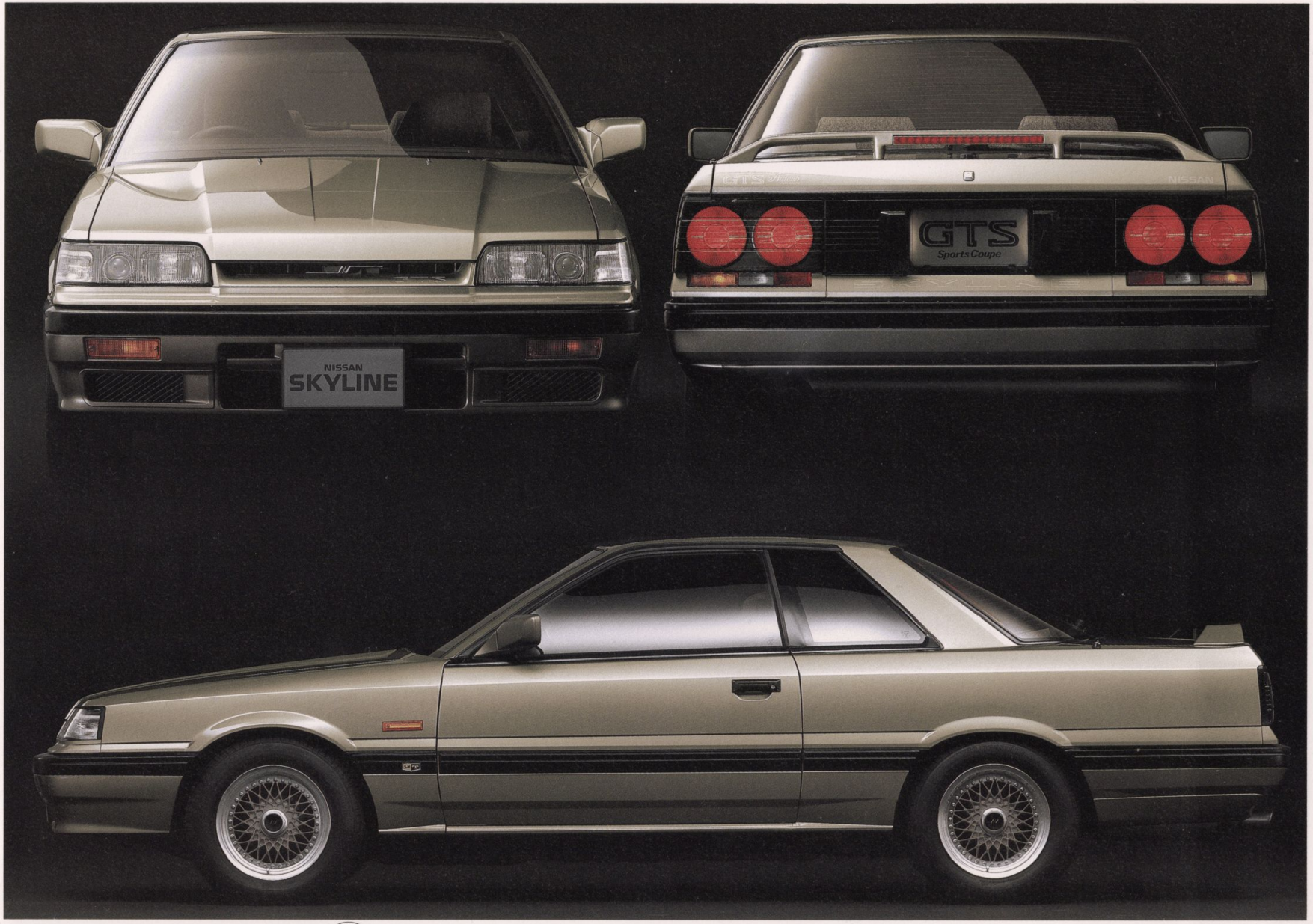

SKYLINE GTS AUTECH VERSION
TUNED by
AUT


TUNED by AUTECH
すべてのスカイラインファンにこのメッセージを捧ぐ
「でき得る限り簡単な仕組みでホンモノの走りを表現したい」——
オーテック・ジャパンのエンジニアはこう語った。
スカイラインGTS−Autech Version。
そう、このクルマはまぎれもなく自動車工房、
オーテック・ジャパンのスタッフらの手によって
生み出されたスペシャルバージョンである。
生産台数200。
なによりクラフトマンシップを重んじる彼らは、
いったいこのクルマにどんな想いを注いだのか。
TUNED by AUTECH。
いまこのカタログを通じ、その全容を語りたい。
スカイラインを愛する
すべてのGTファンのために。

憧憬



ふと心をよぎるもの。
恋人の面影。祖父の格言。そして
昔憧れた一台のGT。
記憶という名の時の微動。
いまふたたび夢に出会える。

実際の車両には左右フロントフェンダーのGTエンブレムの下にラベル Autech がつきます。

Autech JAPAN

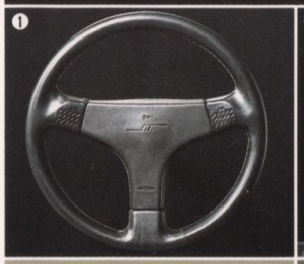

SKYLINE

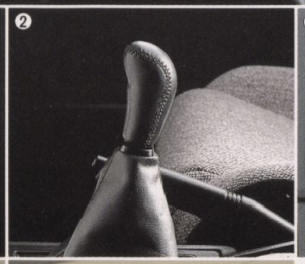

GTS
Sports Coupe

シートに身を沈ませる。
イグニッションキーをまわす。
インスツルメントを支配するのは、
エンジン音の微かな余韻と温もり。
心吸いよせられる時——エクイップメント by オーテック。









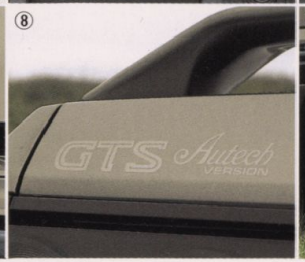
















①イタルボランテ製本革巻ステアリングホイール ②本革巻シフトノブ ③フルオートエアコン(プッシュ式コントロール) ④カセット(ドルビー＋メタル対応)一体式 AM/FM マルチ電子チューナーラジオ(FM ダイバーシティ付) ⑤アルパイン製オーディオセット
⑥プロジェクターヘッドランプ ⑦フロントグリル AJ 専用エンブレム ⑧トランクリッドラベル ⑨ボルクレーシング製3ピース7-JJ×15アルミロードホイール &215/60R15 90H(ポテンザ RE88)ラジアルタイヤ ⑩ハイマウントストップランプ付リヤスポイラー

オーディオシステムは④が標準。⑤またはオーディオレスもお選びいただけます。

Autech JAPAN

乗り手の内に潜む感性、ないしは欲求にリアルな移動空間をこしらえる。骨味のあるクルマづくり——その根底には、自分の乗りたいクルマをつくる、といった自分イズムが満ちているように思う。スカイラインGTS-Autech Version。いわばエンジニアの理想郷に所属する彼らは、このクルマにいかなるチューニングを施したのか。「TUNED by AUTECH」——エンジンプレートに刻まれた想いの数々を以下ご紹介する。

エンジンベースにはRB20DET型を採用。高効率ハイフローターボ、空冷式インタークーラーらをしたがえ、スカイラインターボ技術の最高峰に位置するあのハイパワーユニットに、オーテックスタッフたちの〝調律〟が加えられている。ターボチャージャー、インタークーラー、エキゾースト・マニホールド…余すところなくスペシャルチューンされたRB20DETは、最高出力210PS(ネット値)/6400rpmと2リッターカーのエンジン性能としては、破格の水準を得るにいたる。またこの最高性能をもつエンジンに、さらに厚い低速トルク(最大トルク25.0kgm/2800rpm)を与えることにより、このクルマのコンセプトであるまろやかさが加味されている。こうした内容は何を物語るのか。確かにGTS-Autech Versionに込められたエンジンメニューにはかつてない走りの性能を追い求めるひたむきさが読みとれる。実際走らせてみれば、このエンジンのデッドラインが210PSでは決してとどまらない潜在的素質を持つことは、スカイラインチューンの歴史を身を持って熟知するGTファンにして、容易に判断できる事実であろう。ただ、このクルマの場合は限界性能を究めることのみが目的ではない。たとえば低速からのトルクを厚くすることで加速レスポンスを高めたということは、クルマの挙動が乗り手のオーダーにいち早く応えるためのものでもあり、いわば扱いやすさを優先した設計といえる。一方で乗り手側の欲求を満たしつつも、あくまで彼が不安げなく、気持よく走れる。類い稀な高性能を持ちながら、潜在下に余裕、ゆとりといった大人のテイストを隠し持つ。GTS-Autech Versionはおのずと乗る人を知る。彫りの深い性能。その贅を知る、「おとな」が乗るGTなのである。

「リニアリティ」——最近この言葉をまま耳にする。人とクルマとの一体化(あくまでそう定義づけすると)。それはいかなる状況下でもドライバーのステアオーダーに対して、過剰(もしくは過小な)リアクションをとらない、操作する人のフィーリングに素直で忠実なクルマの挙動を指し示めす。このことは古くからスカイラインがとり組み、育ててきたクルマづくりのテーマそのもの。それだけ「足まわり」には、動力性能と同等のあるいはそれ以上の神経と手間をスカイラインは費やしてきた。刻々と変わるロードシチュエイションの中で、乗り手の操縦センスとクルマの操舵性能との対話の場を、安全重視の範囲内でできるだけつくり出していく。しなやかな操縦性能をその足まわりに求め、フィーリングレベルで熟成させるやり方は、スカイラインならではのお家芸(鞍上人なく、鞍下馬なしといった)でもある。GTS-Autech Versionのサスペンションは、スカイラインファンの絶大なる信頼を誇るマクファーソンストラット式(前)、セミトレーリングアーム式(後)の4輪独立懸架をベースに、バネ、ショックアブソーバーなど主要部位に特性変更を施し、新しく付加物を加えることにより、どちらかと言えばマイルドな味つけに仕上げられている。コンピュータ制御に頼らず「でき得るだけ簡単な仕組みで」の設計姿勢によりあくまでも純粋に、機械の懐へと乗り手の感性(あるいは我)を打ち溶けさせる。GTS-Autech Versionの足まわりには、そんな意味から近来のクルマが忘れかけた「アコースティック」な気配を感じる。そしてこの気配こそが、少量生産を通して走りの個性化をどこまでも追求する、オーテックジャパンスタッフの主張なのかも知れない。

◇

GTS-Autech Versionに込められたスペシャルメイドの数々。それは、スペックだけでは決して語り尽くせないスタッフたちの想いの数々でもある。この旨を伝えたく今回はあえて〝料理表〟(右記)を公表しておきたい。繰り返し申し上げるが、このクルマのメインディッシュは高性能に根ざしたゆとり、大人のテイストである。その具現のため、チューン工程にも惜しみない時間が費やされ、各ユニットもコンピュータの手にできるだけ頼らない、シンプルな仕組みで構成されている。等長式マニホールドの構成ひとつにも、大量生産下では置き去りにせざるを得ないスタッフたちのこだわりが投入されたことだろう。スカイラインGTS-Autech Version。付して言えばこのクルマはGT-Rら先代の再来を決して狙ってはいない。ただ手づくりの良さを目指す上で、彼らへの憧憬へとベクトルが向いているように思われる。常に名車の王道をひた走ってきたスカイラインGT。その歴史の1ページにいま新しい記憶が刻まれようとしている。GTS-Autech Versionという名で。

R E C I P E

BASIC
SKYLINE 2DOOR SPORTS COUPE GTS-X TWIN CAM 24V TURBO

ENGINE(RB20DET)
EXHAUST MANIFOLD
ステンレスチューブ製。
TURBO CHARGER
ギャレット社製T25(コンプレッサーT3)。
OIL COOLER
空冷式。
INTER COOLER
空冷式。
FUEL INJECTOR
特性変更。
CONTROL UNIT
無鉛プレミアムガソリン専用セッティング。
EXHAUST OUTLET
ステンレス製。

CHASSIS
BRAKE
フロントブレーキ熱容量向上。4WAS(4輪アンチスキッド)。
SUSPENSION
スプリング/バネ定数変更、ショックアブソーバー減衰力向上。
STRUT TOWER BAR
フロント&リヤ。
ROAD WHEEL
ボルクレーシング製3ピース7-JJ×15アルミ鍛造。
TIRE
215/60R15 90H(ポテンザRE88)。

EXTERIOR
DOOR MIRROR
車体色電動格納式。
REAR SPOILER
ハイマウントストップランプ付。
BODY COLOR
専用色(#CJ5グレイッシュブラウンメタリック)。
HEAD LAMP
プロジェクターヘッドランプ。

INTERIOR
STEERING WHEEL
イタルボランテ製本革巻(オリジナルセンターパッド)。
SHIFT KNOB
本革巻。
SEAT CLOTH
専用シートクロス(ハイサポートシート)。
INSTRUMENT CLUSTER
樹脂面にベルベックス処理。
TRUNK LID
内側ベルベックス処理(停止表示板組み込み)。
CARPET
専用ループパイル地。

SPECIFICATIONS

車種		スカイライン2ドアスポーツクーペ GTSオーテックバージョン
車名型式		ニッサンE-HR31改
車種記号		51ZKRR31RJFSL-C3※
●寸法		
全長×全幅×全高	(mm)	4660×1690×1365
室内長×幅×高	(mm)	1825×1410×1135
ホイールベース	(mm)	2615
トレッド前/後	(mm)	1435/1430
最低地上高	(mm)	140
●重量・定員		
車両重量	(kg)	1370
乗車定員	(名)	5
車両総重量	(kg)	1645
●性能		
最小回転半径	(m)	4.9
制動停止距離(初速50km/h時)	(m)	15.0
●燃料消費率		
10モード燃費(運輸省審査値)	(km/ℓ)	9.7
60km/h定地走行燃費(運輸省届出値)	(km/ℓ)	17.3
●エンジン		
型式		RB20DET
仕様		水冷直列6気筒DOHC24バルブ
燃焼室形式		ペントルーフ型
総排気量	(cc)	1998
ボア×ストローク	(mm)	78.0×69.7
圧縮比		8.5
吸排気方式		NICSクロスフロー
最高出力(ネット)	(PS/rpm)	210/6400
最大トルク	(kgm/rpm)	25.0/2800
燃料供給装置		ターボチャージャー付きECCS
オルタネーター	(V-A)	12-80
バッテリー容量	(V-AH)	12-40
オイルポンプ形式		ギヤ式
オイルパン容量	(ℓ)	4.3
点火装置形式		フルトランジスタ
燃料ポンプ形式		電気式
使用燃料・タンク容量	(ℓ)	無鉛プレミアムガソリン・65
●動力伝達装置		
クラッチ形式		乾燥単板ダイヤフラム
トランスミッション形式		フルシンクロメッシュ
トランスミッション操作方式		フロアチェンジ式
変速比 第1速		3.321
〃 第2速		1.902
〃 第3速		1.308
〃 第4速		1.000
〃 第5速		0.838
〃 後 退		3.382
減速機歯車形式		ハイポイドギヤ
減速機減速比		4.375
●諸装置		
ステアリングギヤ形式・ギヤ比		ラック&ピニオン・17.5:1
サスペンション前		独立懸架ストラット式
サスペンション後		独立懸架セミトレーリングアーム式
ショックアブソーバー形式 前・後		筒形複動式(8段階手動調整方式)
スタビライザー形式 前・後		トーションバー式
主ブレーキ方式		8インチタンデムブレーキブースター付き独立2系統
ブレーキ前・後		ベンチレーテッドディスク
制動力制御装置形式		4WAS(4輪アンチスキッド)付
駐車ブレーキ		機械式
タイヤ前・後		215/60R15 90H(ポテンザRE88)
ロードホイール		ボルクレーシング製3ピース 7-JJ×15アルミ鍛造

●本仕様および装備品は改良のため予告なく変更することがあります。●このカタログのエンジン出力表示はすべてネット値です。●エンジン出力表示には、ネット値とグロス値があります。●「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値(自工会調べ)となっています。●燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時の気象・道路・車両・運転・整備などの条件により燃費は異なります。●本車両は無鉛プレミアムガソリンをご使用ください。※この車種記号はGTS-X標準品(カセット一体式電子チューナー)装備の場合です。アルパイン製オーディオセット装備の場合は52ZKRR31RJFSL-C3、オーディオレスの場合は50ZKRR31RJFSL-C3となります。

EQUIPMENT

視界
●フロント合わせボカシブロンズガラス
●コーナリングランプ
●プロジェクターヘッドランプ
●無段間けつワイパー
●リヤワイパー
●電動格納式カラードドアミラー

シート
●専用クロス張りハイサポートシート
●前後上下調整式ヘッドレスト

空調
●フルオートエアコン
●プッシュ式ヒーターコントロール
●シャワーヒーター

オーディオ
●カセット(ドルビーNR対応)一体式AM/FMマルチ電子チューナーラジオ
FMダイバーシティ
4スピーカー(リヤ2WAY)
リモコンサテライトスイッチ
★アルパイン製オーディオセット
カセットデッキ組み込みチューナー
CDプレーヤー
パワーアンプ
スピーカー(フロント、リヤとも3WAY)
●フルオートパワーアンテナ

運転席まわり
●イタルボランテ製本革巻ステアリングホイール
●本革巻シフトノブ
●オリジナルキーセット
●パワーステアリング
●タイマー付ワンタッチパワーウインドウ
●リモコン式集中ドアロック
●タコメーター
●油圧計、ブースト計

メカニズム
●エアダム一体式衝撃吸収大型カラードバンパー
●デュアルエキゾースト
●4輪独立懸架サスペンション
●リヤスタビライザー
●L.S.D.(リミテッド・スリップ・デフ)
●ハイマウントストップランプ付リヤスポイラー
●4WAS(4輪アンチスキッド)
●4輪ベンチレーテッドディスクブレーキ
●リヤ・トーコントロールリンク

タイヤ&ホイール
●215/60R15 90H(ポテンザRE88)ラジアルタイヤ
●ボルクレーシング製3ピース7-JJ×15アルミロードホイール
★アルパイン製オーディオセット、またはオーディオレスもお選びいただけます。
GTSオーテックバージョンのボディカラーは#CJ5グレイッシュブラウンメタリック、内装色はブラック、運転タイプは5速フロアシフトです。

全国限定200台

発売方法——お申し込み件数が200件を越えた場合、㈱オーテックジャパンにて抽選とさせていただきます。
お申し込み方法——発表:8月22日/お申し込み受付:8月22日～9月25日(日産プリンス系各販売会社にて)/抽選日:10月4日/当選ご通知:10月13日から(日産プリンス系各販売会社より)/ご納車:11月～12月(日産プリンス系各販売会社より)



NISSAN

スカイラインGTSオーテックバージョン。
この車を開発するにあたり、
オーテックジャパンのスタッフは
納得のいくまで議論をかさねました。
数えきれない、研究・開発・走行実験の末に完成させた成果がこの車です。
いま、大量生産では成し得なかったエンジニアたちの夢とともに、
このバージョンを200人の方々にお届けします。

夢をかたちに
AUTECH JAPAN

Autech JAPAN

お問い合わせ・ご相談は
下記へお願いいたします。
株式会社 オーテックジャパン
電話(0467)87-8001

●このカタログの内容は昭和63年8月現在のものです。なお、改良のため予告なく仕様変更することもあります。
●ボディカラーおよび内装色は、印刷インクや撮影条件などから、実際の色と異なって見えることがあります。